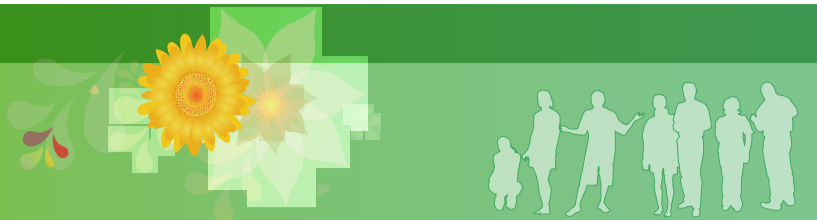


平成28年第3回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

岩田 かずひと (民進ク)

いじめ対策アプリ導入について

問 SNSのメッセージ中、いじめ・犯罪に関連する警戒言語から危険度を判定し、保護者に通知するアプリがある。これを導入し、いじめ対策とすべき。

答 当該アプリに一定の効果は期待できるが、個人情報保護等の課題もある。検証結果を踏まえ、最新の動向を注視しつつ、いじめ防止に取り組む。

千代田区職員採用試験について

問 優秀な働き手でも正規雇用が難しい現状を踏まえ、雇用機会創出や幅広い人材確保を目的に、職員採用の年齢の上限を区独自で撤廃すべき。

答 経験者採用や年齢要件緩和は、人事委員会が23区統一で実施。適宜、受験資格の見直しを行っている。当区でも積極的に多様な人材を確保している。

牛尾 耕二郎 (共産)

軽井沢少年自然の家の存続を

問 今後の利活用について、区民や保護者、学校関係者等の意見を聞いた上で検討すべき。自然体験等の拠点施設として存続することを求める。

答 地元の都市計画による用途制限等の課題を踏まえ検討する。その過程で、各学校へのアンケート等を引き続き実施し、意見を聞きながら進める。

保育士確保のために処遇改善を

問 ①民間保育士の処遇改善を目的とした事業者向け補助金の実態とチェック体制は②保育士向け家賃補助は、採用年数や区内在住の要件を緩和すべき。

答 ①補助申請時に処遇改善策を提案させ、その後の報告書によって実績を確認。賃金台帳のチェック等も検討②他自治体の状況を把握しながら研究。

たかざわ 秀行 (千代田)

児童相談所の設置について

問 都から移管される児童相談所は、豊富な専門知識・経験のある職員が必要。また、児童・家庭支援センターとの役割分担も必要。区の考えは。

答 必要な人材の確保・育成を行う。児童虐待には現在、子ども部で対応しているが、これから検討していく。

有価物の持ち去りについて

問 区民が、区のリサイクル事業のために一生懸命分別した資源を、正規業者以外の者が持ち去ってしまう。対策や禁止条例を検討すべき。

答 現在は、持ち去りの情報連絡を受け、清掃事務所がパトロールしている。条例を制定した区もあるが、罰則効果等の課題があり、抑止効果は限定的である。

はやお 恭一 (千代田)

民間開放の現状と今後の方向性

問 ①選定時の競争性・透明性・公平性の担保、新規参入時の引き継ぎ措置は②非公募時、競争性喪失への対策は。

答 ①事業者の提案書とサービス水準を審査する選定委員会を設置。募集要項に引き継ぎ事項を明記②選定委員会の運用面でのさらなる工夫が必要。

区職員に求められる能力

問 ①区職員には「区民に分かり易く説明する能力」と「委託先の事業者へ go・stopを判断する能力」が必要。区の見解は②能力開発の為の育成体制は。

答 ①より良い区民サービス提供には不可欠の能力と考える②新人職員は先輩職員の個人指導・OJTから始まり、それ以後の階層には各職層に応じた研修等により能力向上を図っている。

飯島 和子 (共産)

公道の街路樹について

問 神田警察通り、白山通りの街路樹が説明不十分なまま伐採された①街路樹を計画的に増やす考えはあるか②都道・白山通りの街路樹伐採の沿道への説明会を都に求めては③樹木選定や管理、更新等のルール作りが必要。

答 ①街路樹の重要性は認識。設置可能な箇所に極力植樹をする②都へ働きかける③地域の思いに配慮し、専門的な知見を活用すべくルール作りを検討。

訪問看護ステーションへの支援

問 介護・リハビリ報酬の引き下げは、訪問看護ステーションの存続に影響しかねない。実態調査し、支援の強化を。

答 訪問看護は更に重要となるサービスと認識。日常的に関係組織と打ち合わせ、意見交換や個別相談を実施。

議場の大型スクリーン活用を試行!

本会議での質問時に、今までは補足資料として、パネル等を使用していました。しかし傍聴者席から見えづらいこともあることから、議長席後ろの大型スクリーンを活用することになりました。今定例会では本格実施に向け、試行しました。



議場でのスクリーン活用を試行しました